



## スウェーデン・日本 ジョイントシンポジウム 「持続可能な都市の発展」 4月17日(木)

- イベント:** スウェーデン・日本 ジョイントシンポジウム「持続可能な都市の発展」  
**テーマ:** 持続可能な都市、持続可能な交通システム  
**日時:** 2008年4月17日(木)  
**場所:** 国連大学本部ビル(渋谷区)  
**主催:** スウェーデン大使館、環境省(MOE)、国連大学(UNU)  
**共催:** スウェーデン文化交流協会、The Natural Step Japan  
**協賛:** VOLVO

### 背景

- 気候変動は、今日世界中で最大の脅威の一つになっている。持続可能な発展を遂げるために、エネルギー消費を減らし、温室効果ガスの排出を抑制する多大な努力が必要とされている。
- 世界の人口は都市部に集中しているため、都市や地方自治体には大きな責任がある。人口の都市集中により、輸送やエネルギー等の分野において効果的かつ賢明な解決策とその基盤が必要とされている。
- スウェーデン、日本、両国は共に持続可能な都市システムと持続可能な交通システムを築き上げる上で大きな発展を遂げてきた。両国はまた、未来に向けた革新的な対策も進めている。今年、日本が G8 の議長国を務める一方で、スウェーデンはコペンハーゲンサミットが開催される 2009 年下半期に EU 議長国を務めるための準備段階に入っている。両国間における環境分野での相互協力はこれまでも増して重要なものとなっている。

### 本シンポジウムについて

- 日英同時通訳あり。
- 一般入場については、要事前登録。名前、肩書き、所属、ならびに参加予定のセッション名(A:持続可能な都市、B:持続可能な交通システム)を下記アドレスまで E-mail にて送信する必要があります。セッションAの最大定員数は 300 名、セッションBの最大定員数は 100 名です。定員に達した場合、応募を締め切らせていただきます。

参加登録先: [environ-april17.tokyo@foreign.ministry.se](mailto:environ-april17.tokyo@foreign.ministry.se)

当日は、写真付きの身分証明書を受付にて御提示ください。

## プログラム

08:30 - 09:00 受付

09:00 - 10:05 オープニング・セッション 会場:ウ・タントホール(3階)  
開会挨拶: 国際連合大学学長 コンラッド・オスターヴァルダー  
開会の辞: スウェーデン首相 フレドリック・ラインフェルト

基調講演: 環境大臣 鴨下 一郎

基調講演: スウェーデン環境大臣 アンドレアス・カールグレン

講演: 「宇宙からの気候監視」  
スウェーデン人宇宙飛行士 クリスター・フーグレサング

10:05 - 10:20 休憩

セッションA 持続可能な都市 会場:ウ・タントホール(3階)

10:20 - 10:35 「火星との対面 地球のリサイクル」  
スウェーデン、シャルマシエ工科大学  
環境と持続可能な開発学科持続可能なデザイン学客員教授  
マリア・ニーストロム

10:35 - 10:50 「持続可能な都市に向けたエネルギー戦略」  
環境エネルギー政策研究所所長  
飯田 哲也

10:50 - 11:05 「持続可能な都市」  
王立工科大学空間設計学教授兼スウェーデンSWECO 主任設計者  
ウルフ・ランハーゲン

11:05 - 11:20 タイトル未定  
講演者(日本)未定

11:20 - 11:35 「持続可能な都市、マルメに見るその実例」  
マルメ市長  
イルマール・リーパル

11:35 - 12:15 パネルディスカッション

セッション B 持続可能な交通システム 会場:エリザベス・ローズホール(5階)

10:20 - 11:35

「環境問題を見据えた次世代技術」  
日産ディーゼル代表取締役社長 竹内 覚  
VOLVO グループ 上席副社長 広報・環境問題担当 ヤン・エリック・スンドグレン

「燃料電池自動車の研究開発の重要性と『水素・燃料電池プロジェクト』の活動」  
財団法人日本自動車研究会、FC・EV センター 渡辺 正五

講演者(スウェーデン)未定

講演者(日本)未定

11:35 - 12:15 パネルディスカッション